※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3014

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	世界史Ａ（通信）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	世界史Ａ　（実教出版）						
副教材等	自主製作プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史Ａは近現代中心の世界史です。でも近代にいたる文明圏の歴史も重要です。私たちの現代の社会に存在する、人、もの、技術、文化、宗教、などのルーツがどこにあるのか考えよう。

２　学習の到達目標

１　近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させる。
２　現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培う。
３　国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究している。	近現代史を中心とする世界の歴史を、日本の歴史と関連付けて、多面的･多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し､その知識を身に付けている。
評価方法	レポートの提出 授業での発言・態度	定期考査 レポート	定期考査 レポート	定期考査 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	ユーラシアの諸文明の誕生	東アジア世界の形成と発展 モンゴル帝国と元 南アジア世界の形成と展開 オリエント世界の統一 地中海世界の形成	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高める b: 近現代の歴史の展開から課題を見いだしている c: 近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し，活用している d: 近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 観察 レポート提出
	ユーラシアの諸文明の交流	キリスト教の成立と発展 イスラム世界の成立 イスラム世界の分裂と多様性 ヨーロッパ世界の形成 ヨーロッパとイスラムの対立	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高める b: 近現代の歴史の展開から課題を見いだしている c: 近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し，活用している d: 近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 観察 レポート提出
	一体化に向かう世界	ルネサンス 宗教改革 大航海時代 絶対主義王政 オスマン帝国とヨーロッパ	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高める b: 近現代の歴史の展開から課題を見いだしている c: 近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し，活用している d: 近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 観察 レポート提出

※令和３年度以前入学生用

後期	欧米の革命と変動	産業革命 イギリス議会政治と革命 アメリカ独立革命 フランス革命 ナポレオンとウィーン体制	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高める b: 近現代の歴史の展開から課題を見いだしている c: 近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し，活用している d: 近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 観察 レポート提出
	帝国主義	ヨーロッパ列強の海外進出 植民地獲得競争 第一次世界大戦 ロシア革命 ベルサイユ体制と国際連盟	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高める b: 近現代の歴史の展開から課題を見いだしている c: 近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し，活用している d: 近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 観察 レポート提出
	第二次世界大戦とその後	世界恐慌とニューディール ヒトラームッソリーニ 満州事変から日中戦争 第二次世界大戦 国際連合と冷戦	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高める b: 近現代の歴史の展開から課題を見いだしている c: 近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し，活用している d: 近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。	定期考査 観察 レポート提出

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。